

女性研究者支援モデル育成「世界へ羽ばたけ！ 女性研究者プログラム」の採択について**概 要**

平成19年度文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業（期間：原則3年、予算3900万円/年）に九州大学から提案した「世界へ羽ばたけ！ 女性研究者プログラム」が採択された。九州大学では昨年11月に策定した「九州大学の男女共同参画推進について」の理念、方針に基づく取組をより確実に実行し、女性研究者の働きやすい環境作りに踏み出すこととなった。

背 景

九州大学では女性研究者の支援に関し、平成18年度から学内研究助成制度の一部（研究スーパーstar支援プログラム、教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト（P&P））に女性枠を設けたほか、出産・育児期研究助成制度を新設し、11月に策定した「九州大学の男女共同参画推進について」において平成21年度までに女性教員比率を現状の8.5%から1.5倍（約13%）にする目標を定めた。

本学のこの一年の取組実績と女性研究者支援に関するきめ細かい支援構想が評価され、平成19年度の科学技術振興調整費『女性研究者支援モデル育成』事業に採択されるに至った。事業期間は本年7月から、平成22年3月までである。本事業により、本学の男女共同参画推進に向けた女性研究者支援活動がより一層加速することとなる。

内 容

「世界へ羽ばたけ！ 女性研究者プログラム」では九州大学で行う以下の取組のうち、一部を科学技術振興調整費で充当する。

- ・ 女性研究者支援室の設置（対象：大学院生、ポスドク、教員）
女性研究者ネットワークの構築、女性研究者向け情報収集・発信、各種相談窓口
- ・ 優秀な女性若手研究者の発掘・育成
セミナー・交流会、国際学会参加・国際学術誌投稿支援
- ・ 多忙な教授・准教授層への研究支援（社会貢献〔公的機関委員〕等）
- ・ 新任教員へのスタートアップ支援
- ・ 出産・育児期支援（既設）の充実
- ・ 女性研究者のロールモデルの提示（中高生、大学生）

効 果

社会貢献、出産・育児、介護等で多忙な各年代の女性研究者の研究時間を確保し、自身のそれぞれの研究活動を活性化させる。また、女性研究者間での交流を促進することで優秀な人材を発掘・育成し、国際的に活躍できる女性研究者を輩出する。さらに、女性研究者の研究環境を整えることでその定着と増加が図られる。

今後の展開

本学の支援プログラムは出産・育児期支援のほか、若手研究者の発掘・育成、多忙なシニア層の研究時間確保、新任教員への支援、女子中高生への裾野を広げる活動等総合的な女性研究者支援プログラムである。この九大モデルにより女性研究者の研究環境の改善が図られ、研究者数が増加するとともに、他大学、他の研究機関に九大モデルが広がる事が期待される。

【用語解説】

科学技術振興調整費：総合科学技術会議の方針に沿って科学技術の振興に必要な重要事項の総合推進調整を行うための経費であり、以下の施策であって、各府省の施策の先鞭となるもの、各府省の施策では対応できていない境界的なもの、複数機関の協力により相乗効果が期待されるもの、機動的に取り組むべきもの等で、政府誘導効果が高いものに活用されるものである。

優れた成果の創出・活用のための科学技術システム改革

将来性が見込まれる分野・領域への戦略的対応等

科学技術活動の国際化の推進

(文部科学省 HP http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/chousei/index.htm より)

【問合せ先】

九州大学高等研究機構研究戦略企画室

准教授上瀧恵里子

電話：092 - 642 - 4369

FAX：092 - 642 - 7090

Mail：office@srp.kyushu-u.ac.jp

九州大学における 女性研究者プログラム

達成目標

女性研究者が実力を発揮できる環境づくり
世界レベルで活躍する女性研究者の発掘・育成
女性教員増：女性教員比率を1.5倍（13%）へ



世界へ羽ばたく
女性研究者を！

新設

女性研究者支援室

情報収集・発信
施策の企画・実施
各種相談窓口 等

連携

男女共同参画
推進室

これまでの取組

出産・育児期研究支援制度

研究助成制度に女性枠設置

ロールモデル提示、啓発活動

ジェンダー講義 2科目目の開始

継続・拡充

新たな取組

国際的に活躍する研究者の育成

女性研究者ネットワークの構築、交流促進
若手の国際学会出席・国際誌投稿への支援

多忙な女性教員への研究支援

政府・自治体等委員会委員の女性教員へ
研究補助者の雇用支援

女性教員スタートアップ支援

新規採用の女性教員に
研究スタートアップを支援

施策の一部を科学技術振興調整費で充当

世界へ羽ばたけ！ 女性研究者プログラム 実施体制

